

06  
08  
10

デザインディレクター David Glaettli

ダヴィッド・グレットリ

# 名作たるゆえんは、遊び心にあり。



048

100



## アレッシィの「9091」ケトル

ドイツの楽器職人が特別生産した真鍮製ホイッスルが、美しい和音を奏でる。前衛的デザインのマグカップは岐阜の陶芸家・佐合政昭のもの。

●1977年、スイス生まれ。ローザンヌ美術大学で学び、京都とチューリッヒを拠点にカリモクニュースタンダードなどでデザインディレクションに携わる。7月に会社「Glaettli Design Direction Ltd.」と自宅を東京に移転。[www.davidglaettli.jp](http://www.davidglaettli.jp)

「ベーシックなカタチなのに、想像力をかきたてる遊び心に満ちていて、機能をしっかり備えているところに惹かれます。お湯が沸いた時に鳴る音もとてもきれいです」。アレッシィのケトルの魅力をそう語るダヴィッド・グレットリさん。以前より手に入れたいと思っていたところ、2年前ミュンヘンを訪れた時に買って帰ったそうだ。

「1983年にドイツ人デザイナーのリチャード・サパーによってデザインされたもので、当時はエットレ・ソットサスを中心としたデザイナー集団『メンフィス』が活躍していた時代。この頃のミラノのポップなデザインが好きなんです」

このケトルが名作になったのは、機能をデザインする“回り道”があったからで、その“回り道”に美しさが表れていると言う。自身も商品開発など日々さまざまなデザインに触れる仕事柄、ものを見る目は鋭く、ユニークだ。有田の陶器市で出会ったマグカップにも、偶然にも同じムードを感じてひと目で気に入り、愛用している。